

事業名		代表者 所属	徳山工業高等専門学校 情報電子工学科
17 KJ-007	小中学生を対象としたIoT ブートキャンプ	代表者	教授 原田 徳彦
		開催地	周南市
		助成金額	15 万円
活動概要	<p>日時 3月24日9時～25日16時</p> <p>場所 徳山高専・徳山駅前賑わい交流施設</p> <p>対象 小中学生</p> <p>参加者(人) 45人 内訳(保護者等;22人)(生徒;23人)</p> <p>内容 AI 時代に対応するためにコンピュータを如自在に扱える人材を育成する小中学生を対象としたIoT ブートキャンプ</p>		

事業の目的・ねらい

本事業の目的は、コンピュータを実体として体感できるコンピュータを組み込んだ IoT 機器を使用し、小中学生を対象とした体験学習講座として、集中的に教育実践するブートキャンプを開催する。この経験を通し、AI 時代に対応するためにコンピュータを如自在に扱える人材を育成するための基礎体制を構築する。特に、初等・中等教育に適したコンピュータ組み込み IoT 機器とその教育手法を開発する一助とする。

事業の概要

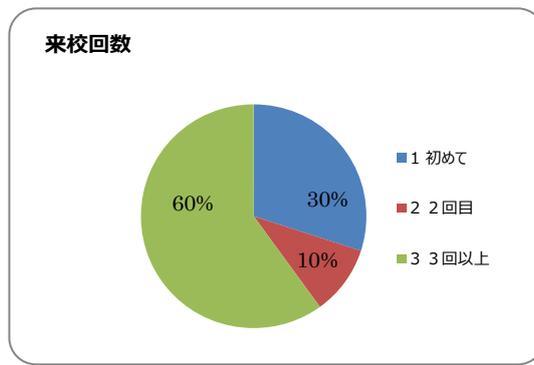
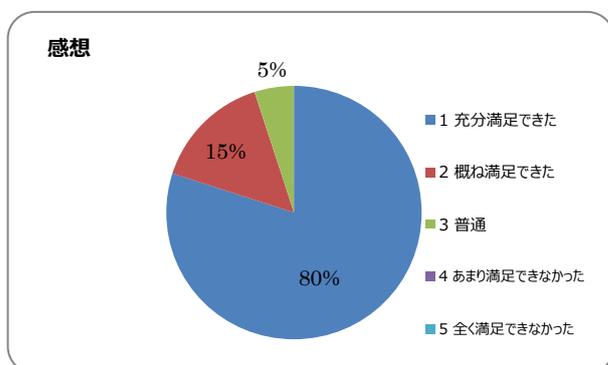
本事業は、事業期間に周南市を中心として開催する「石巻ハッカソン in しゅうニャン市」の事業の一環として、小中学生を対象にコンピュータ関連ブートキャンプとして実施するものである。なお、「石巻ハッカソン in しゅうニャン市」事業は、ハッカソン部門とIoT ブートキャンプ部門の2部門で構成される。(IoT ブートキャンプは、小中学生を対象とした、教員と高専の学生によるコンピュータ教育の集中講義である。)

IoT ブートキャンプでは、以下の内容を実施した。

- ・Scratch(初等教育用プログラミング言語)講座: Scratch を使って「ねこ」をモチーフに独自アプリを開発した。低学年の子供も親子で楽しくプログラミングに取り組んでいた。
- ・Arduino(マイコンボード)プログラミング: Scratch とマイコンボードを使って、画面上で動かす仮想ロボットによる独自のゲームなどを作成した。それぞれのアイデアを作品の形にし、発表会では、作品の説明、デモンストレーションを行い、学生や社会人の関心を集めた。指導した学生にとっても良い機会となった。

成果・効果

アンケート結果をグラフに示す。



写真、図

アドバンスコース
教室、発表会



ビギナーコース
集合写真、教室

